



広報

いながわ

平成12年(2000年)11月15日第590号

町花
つつじ



町木
松



昭和46年4月1日制定

編集・発行 猪名川町役場町長公室広報広聴係

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 0727 (66) 8707 ファックス番号 0727 (67) 2255
ホームページアドレス (URL) http://www.town.inagawa.hyogo.jp 電子メールアドレス koho@town.inagawa.hyogo.jp

毎月1日・
15日発行



▲粗大ごみ収集の様子。リサイクルをスムーズに進めるため、適切な分別にご協力ください

みんなでリサイクル社会を 築きましょう!

考えようごみ問題

私たちが排出するごみは、人口の増加、生活様式の変化などにより、年々増加するとともに、その質も多様化する傾向にあります。町では、「猪名川町ごみ減量化計画」の提言を受け、住民、事業者、行政が一体となって排出源のごみを抑制し、資源物のリサイクルを積極的に行うことで、環境にやさしいライフスタイルへの転換を目指しています。

今回、ごみ収集・処理の現状と減量化・資源化に向けた取り組みを紹介いたします。いまだ一度、ごみ問題に目を向けていただき、みなさんのより一層の協力をお願いします。

ごみ収集量の推移と 処理の状況

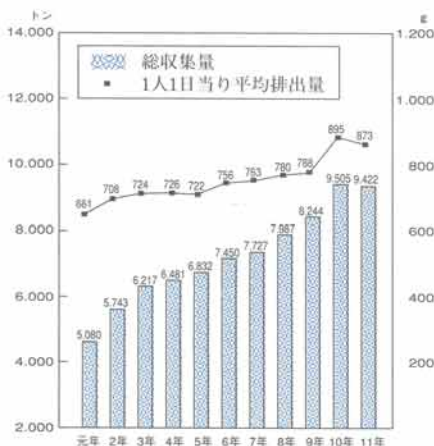
本町におけるごみ収集量の状況は、平成元年度の五千八百八十から平成十一年度には九千四百二十二と約一・九倍に、また、住民一人一日当りのごみ排出量も、六百六十一から八百七十三と約一・三倍に増加しています(グラフ)。

また、容器包装リサイクル法の施行に伴い、ペットボトル、びん類の三色分別、紙パックの分別収集を追加した六種類十四分類の

ごみ処理経費

平成十一年度のごみ処理経費は、総額で三億九千九百六十六万円で、住民一人当たり一万二千四百一円、一・当り三万二千五百円となり、大きな経費が必要となっています。なお、この経費には、焼却場などの施設建設費、ごみ減量対策費、クリーンセンター周辺整備費が含まれていません。これらを含めると、さらに大きな経費となります。

グラフ1 ごみ量の年度別推移



④生ごみのリサイクルを
家庭用生ごみ処理器を使い、生ごみを堆肥化して家庭菜園などに利用してください。町から家庭用生ごみ処理器の購入に対し、価格の八割(限度額四万円)の補助を行っています。平成十一年度までの生ごみ処理器の補助台数は五百六十五機で、アンケート調査の結果

ごみの減量化・再資源化のために
ごみの減量化・再資源化は、みなさんの協力が不可欠です。今年度取りまとめた「猪名川町ごみ減量化計画」に沿って、各家庭には次の事項を推進しています。

①ごみを作らない、出さない
買物をする時、ごみとなるものは買わない、簡易な包装にする、またマイバックを持参してレジ袋は利用しないよう心掛けてください。

②紙・びん・一日平均七百分の生ごみが処理されています。これをものに試算すると、一年で約四百四十四万四千六百一十円の処理経費が削減できることとなります。

③集約回収でリサイクルを
新聞、雑誌、ダンボール、布類など、リサイクルできる資源ごみは、自治会、婦人会、子供会などの団体により集約回収業者に引き取ってもらいましょう。町から一袋当り八円の奨励金を交付します。

⑤スーパなどの店頭回収へ
ペットボトル、トレイ、牛乳パックは、洗浄して購入したスーパーなどの店頭回収箱に返却してください。

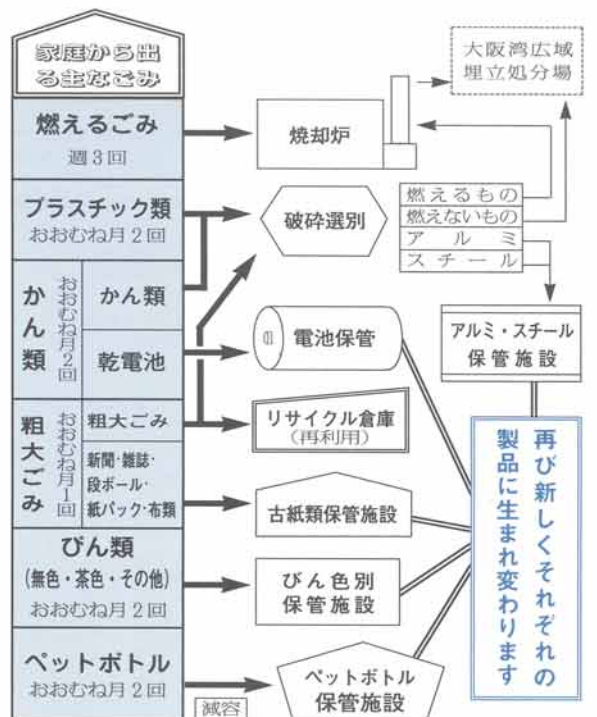
⑥冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコンは買い替え店へ
冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコンは、購入店または買い替え店などで引き取ってもらってください。

⑦不用品の再利用を
家庭で不用となった家具類、電化製品、自転車などでまだ使えるものは、友人に譲ったりすること、再利用に努めてください。また、クリーンセンターでは粗大ごみで収集した自転車、家具などで修理すれば使えるものをリサイクル倉庫に展示し、抽選の上無料で譲っています。

⑧グリーン購入を
リサイクル製品や詰め替え方式の商品を購入するグリーン購入を積極的に進めましょう。

問い合わせは、住民課(☎六六・八七〇)またはクリーンセンター(☎六六・〇八一)へ。

図1 ごみの分別収集と処理の形態



11月19日は 秋のクリーンアップ作戦
「心がけ、一つで出来る街の美化」

十一月十五日から二十一日は、猪名川町環境美化週間です。実施本部では、この期間の十九日(日)を一斉清掃日と定め、秋のクリーンアップ作戦を実施します。春のクリーンアップ作戦の収集量は、三十六・五トンでした。「心がけ、一つで出来る街の美化」を合言葉に、街の美化にご協力ください。

問い合わせは、住民課(☎六六・八七〇)へ。



▶春のクリーンアップ作戦の様子



	国
しくみ	社会保 国民が 助制度
財 源	年金類 が負担 給料と 主かな 物産

国民年金と個人年金

性格をするもので、払い込
た保険料に運用利息を加えた
が給付として支給されます。
す、希望した期間の上
平均寿命の延びがあった場合
、対応が難しく、差役の所得
のすべてを個人年金に頼らう
六・八七二二へ。

も悪い。まず国民年金保険

申込みは、十一月十七日午前

車込みは、中央公民館（番六・八四三）へ。

保険料(百六

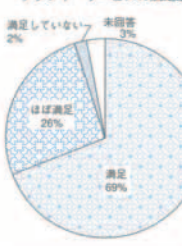
しめ縄づくり講習

開催日	
12月1日(金)	午後2時～5時
12月1日(土)	午後2時～5時
12月1日(日)	午前10時～12時 午後2時～5時

申し込みのうちに、いす

▽対象 町内在住・在勤の人
▽講師 三木田道之さん
▽定員 20人(先着順)
▽参加費 00円(材料費)
▽申込期間 1月17日(土)～30
申込方法は、電話で中央公民
(☎六六・八四三二)へ。

介護保険制度の開始から4カ月を経過した時点で、利用者から見た介護サービスの現状や、利用者がサービスを選ぶ際の視点などを把握するためアンケート調査を実施しました。その結果の概略をお知らせします。

[illegible]

役場の窓口の位置が変わります

		出納室	
總 庫 商業銀行總行保險庫等處均宜設置此庫			

本行倉庫 1 間

總庫室				
町倉室	商業倉庫	貯蓄倉庫	土庫倉庫	

本行倉庫 2 間

「家族とトラブルがあった」などといった悪質なたずら電話が多発しています。おかしいと思ったら相手をせず、警察（☎55-0110）へ通報してください。



まあちゃんはたいたい
んちゃパワー全開中。や
しい優介兄ちゃんと仲良
すくすく大きくなってね
父 和洋・母 智恵子

川霧祭
 川西市立川西西舞舞学校では、
 踊をひろげよう。二十一世紀へ
 踊をひろげよう。二十一世紀へ
 踊をひろげよう。二十一世紀へ

3万1千500円▽
社（清水）から堀池
5万1千500円

お知らせ
いろいろ

[illegible]

猪名川町の思い出のアルバム 二十世紀の猪名川町のあゆみ

いながわ特派員 とびっきり 報告

二十世紀もあと二カ月半になりました。みなさんにとって、二十世紀はどんな時代だったのでしょうか。
私たちの町、猪名川町は、昭和三十年四月に中谷村と六瀬村が合併して、めずらしい「郡一町」として発足しました。
そこで、今月と来月の二カ月にわたって、今年四十五歳になった猪名川町の二十世紀を振り返ってみようと思います。
みなさんの思い出を重ねていけたらうれしく思います。

清流が美しくて……



▲昭和37年当時の杉生地区の県道川西篠山線（森田さん提供）

昭和二十三年に三田市から、猪名川町に嫁いで来られて「五十二年の歳月がたちました」と話してくださった森田寿江さんに、当時の思い出を伺いました。
「猪名川の清流は美しく、子供たちは、川に入って魚を取ったり泳いだりしていました。
産業は、農業中心で、小中学生には、農繁期休暇があり、一家総出で農業を行いました。夕食の仕度では、家々の煙突から煙が出てい



▲杉生の森田寿江さん



特派員
上田 美佐子



特派員
小林 悦子

時の流れをしみじみと……

町内で、番最初が開発された日生ニュータウンに、その誕生時からお住まいの鳥越さんご夫妻に、いろいろお話を伺ってきました。
第一期の入居は昭和五十二年五月からでしたが、家族の都合で七月に入居したそうです。当時は能勢電鉄日生線が開通してなくて、無料の専用バスが畦野駅までバス・トン運行をやっていました。
「最初の頃はバスの便数も少なく、会社に間に合いません。近所の方はバスを運転する車に、近所の方たちと乗り合わせて通勤していました。」

ました。薪で飯を炊いたり、お風呂をわかしてました。飲料水も井戸水中心で、我が家では、古くに醤油の製造をしていたこともあり、山に五十坪の横穴をあけて地下水を引いていました。
日常の買い物は、交通手段が限られているので、お店の方が行商にいられていました。また、大きな買い物や衣類などは、池田の商店街や大阪の百貨店まで一日がかりで出かけたこともありました。
昔の懐かしい思い出です。」と話されています。



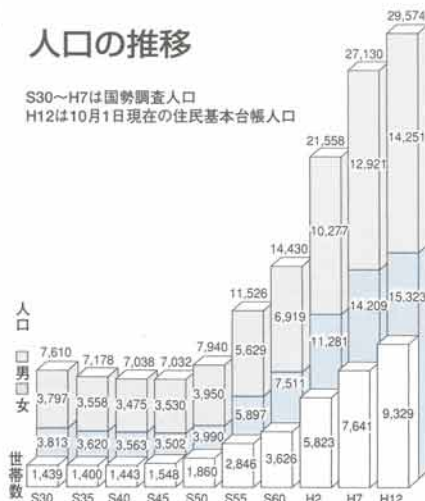
▲松尾台の鳥越さん夫妻



▶日生ニュータウン開発当初の日生中央駅付近

人口の推移

S30～H7は国勢調査人口
H12は10月1日現在の住民基本台帳人口



将来への夢を広げて

猪名川町が発足してから四十五年間は、世の中が大きく変化した時代でもあります。もちろん我が町の変化もとても大きなものでした。
特に生活環境の変化には、目を見張るものがあります。現在の生活では当たり前の事も、昔は夢物語だったに違いありません。
例えば、ごみの収集が始まったのは昭和四十五年五月です。それまでは、各家庭で畑に埋めたり、燃やしたりしていたのです。
そして、電話も昭和四十七年二月にダイヤル式になりました。今の子供たちにとっては、ダイヤル式でさへ記憶にないかもしれません。



▲町の発足を祝う小学生の旅行列

昭和五十年に日生ニュータウンの入居が始まってからは、人口も急増し、当初、七千人足らずの人口が、五十四年には、一万人を突破し現在は三万人を超えようとしています。
昭和四十九年十月に給水を開始した水道も、現在はほぼ百戸普及しました。また下水道整備も、あと数年で完了します。
南部地域では都市化、住宅開発が進み、商業地域も充実し、人口の増加に伴い各種施設も充実してきました。車で少しの時間をかければ、手軽に買い物もできるようになりまし。能勢電鉄日生線も、今では、梅田直行便で大阪へ一時間たらずで行け、生活圏の広がりを感ずります。
また、北部地域は、昔ながらの豊かな自然を残し、現在に至って住んでいる人達からすれば、まだまだ不十分と感じるところが多いとは思いますが、南部と北部の融合で、バランスの取れた二十一世紀の町づくりができれば、いと将来の夢が広がります。



▲昭和40年代の役場庁舎、現分庁舎の位置に建てたものです（昭和54年まで使用）

おもしろ川柳

今回のテーマは「勤労感謝」
「ありがとう」言いたいけれど照れくさい
都築篤子 松尾台
親父アリ息子ぶらぶらヨリギリス
中桐徹 白金
カアちゃんの内助でわが家皆元気
岡村保雄 つつじが丘
来月のテーマは「ミレニアム」です。
応募方法は、十一月二十六日までにハガキで町長公室広報広聴係へ。

きょう猪名川町が発足
珍らしい。一郡一町
午後から早速初町会開く

昭和30年4月10日の合併を報じる新聞記事